

新型コロナウイルス感染症関連補正予算等審査

特別委員会臨時会

R2年5月2日(土)

公明党市議団を代表して質疑!!

主な質疑項目



- ⑤ 本市の新型コロナウイルス感染発生動向状況の分析は?
(4月30日)
(回答)
コールセンター相談数 30560件
PCR検査数 7320数
陽性患者 人数 65事例 率4.8%
入院中 8名
宿泊施設療養中 2名
退院・療養解除 55名
死亡・自宅療養入院調整 0名
- ⑥ PCR検査基準と濃厚接触者の柔軟対応と医療従事者や妊婦等の優先検査を実施
- ⑦ 患者に真摯に向き合う姿勢
- ⑧ 陽性患者の円滑な入院調整(実現)
- ⑨ 救急車対応の要請、搬送
要請51件・搬送42件・陽性2件

- ① 自宅療養者支援・宿泊施設の衛生管理(実現!)
- ② 保健所の体制強化とスマートホンアプリ活用の健康観察(実現!)
- ③ 発熱等で医療機関受診を断れる方への対応(実現!)
- ④ 市民の声を受け止める体制と、日々の確認、市長の迅速な時の判断
- ⑩ 特別支援学校・学級に通う子どもたちへの個別学習支援(実現!)
- ⑪ 放課後ディサービス事業所への本市独自支援(実現!)
- ⑫ 妊婦の休業取得の周知徹底(実現)
- ⑬ 保育を必要とする子どもの保護者離職期間の延長対応(実現!)
- ⑭ 児童虐待・DV対策の相談窓口の周知徹底(実現!)

宮城県村井知事・仙台市長にそれぞれ要望書提出(各第4次)



【主要要望項目】県内約350事業所等の「コロナ対策影響調査」概要提出

●国の臨時交付金等の活用で休業支援金等事業を抛出●地方創生臨時交付金を活用し、失業や休業等の雇用確保●相談電話コールセンターの回線増強と保健所等の職員等配置の拡充●PCR検査等対応強化●「緊急医療用陰圧式テント」活用●重篤化を簡便に測定するパルスオキシメーターの推進●患者の消毒液や酒精綿など供給●聴覚障がい者等が、電話リレーサービス等を導入●オンライン授業の体制確保

●新型コロナに係る、保育施設利用等に関する取り扱いの中で、育児休業から復職予定の場合、原則として利用開始日から2か月後までに復職いただくこととしておりますが、再度求職活動中として継続利用を認める場合があります。

●障害児等の学校臨時休校による、放課後ディサービス事業の利用者負担が生じた場合の利用料については、国の補正予算が生まれ、自治体負担となりました。

●仕事を失って次の仕事を探している間の家賃を応援、就労支援等も実施

実現
しました

祝 2020年5月3日(日) 河北新報に掲載

感動!! 小田島の質疑に、市長が女子児童からの手紙とマスクの贈り物紹介!!

小田島質疑の中で、「子どもたちが自宅学習においても、自主性を持って行動し、考え判断する力を養うための声かけは学校教育にとって重要。この期間だから子どもとしっかり向き合い、子どもの可能性を信じることの大切さを再認識できる家庭教育の意義について、市長・教育長がそれぞれ子どもたちや保護者へメッセージを伝えていただきたい」と求めた。

市長からは、女子児童からの手紙とマスクが届けられたエピソードを紹介し、児童の手紙を朗読した「学校や習い事には行けないことは残念ですが、今は自分の命を大切に、不要不急の外出は避けたい。いつもの毎日は絶対に戻ってくる。そう思いみんなで力を合わせて頑張りたい」と、

市長は大人が成長を見つけることが、子どもたちの意欲的な行動につながる。役割を担えるのが家庭にいる皆さん。学校市教委に学校再開への環境整備に最大限の努力を願うとの答弁。

小田島は、「素晴らしい、感動の話で、このエピソードが希望の種となり市内に広がることを望む」と!!